

事務事業評価シート(事前評価)

事業コード 2-1-3	事務事業名 保谷庁舎・敷地整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	----------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等	
	事業開始時期	実施形態

合併時に現行庁舎を有効活用すると決定したことを踏まえ、市民サービスや事務執行の効率性の向上を図るため、保谷敷地整備計画に基づき、東京都道路建設計画への対応も考慮しながら、庁舎の改修、敷地内・その周辺の整備及び敷地内の緑化を行う。

庁舎周辺の3.2.6号線など都市計画道路の整備に合わせて、平成20年度(実施設計、解体工事等3件を実施)から22年度にわたり、保谷庁舎の敷地整備及び敷地内の緑化等を行う。平成21年度は、こもれびホール駐車場整備工事、北側駐車場整備工事(庁用車専用)、保谷南分庁舎整備工事及び現庁用車専用駐車場解体工事を行い、平成22年度は北側市民広場(緑地)整備工事・南分庁舎の追加工事を行う。各事業を行うに当たっては、みどりや環境に配慮して実施する。

平成20 年度 実施形態 直営 委託 補助 その他 ()

項目	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
事業費(A)		300,592	50,137			
内: 国庫支出金・都支出金						
内: 地方債	千円					
内: その他 (まちづくり整備基金)		300,592				
内: 一般財源		0	50,137	0		0
所要人員(B)	人	0.75	0.75			
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,124	6,124	0		0
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	306,716	56,261	0		0
単位当たりコスト(E)=(D)/ (工事実施件数)	千円	76,679	28,130	#DIV/0!		#DIV/0!

活動等指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
工事実施件数	件	4	2			
緑化面積	%	7.35(1808.95㎡)	16.68(3783.60㎡)			
(指標の説明 など) 主工事の実施件数を記載。 緑化面積については一団地認定の基準を基に増築する。標記は全敷地面積に対するパーセント。()内は緑化実面積。						
成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標	年度
一次 駐車場台数(市所有)	台	134	157			
二次 事業件数の進捗率	%	78	100			
(指標の説明 など) 駐車場の台数は市所有の土地。21年度は他に32台分の借地駐車場を利用。22年度には借地駐車場はなしの予定。 敷地整備事業(20~22年度)の総工事件数の9件を分母として、21年度までに7件、22年度までに9件実施の予定で進捗率を記載。						

市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成19年10月に実施した環境に関する市民アンケートでは、市が優先的に解決すべき課題として、回答した市民のうち74.9%が「二酸化炭素の増加による気候変動(地球温暖化)」、51.8%が「ヒートアイランド対策」を挙げている。市民ニーズに基づき策定した環境基本計画では、「良好な生活環境の確保」「みどりの保全・育成」を基本方針としている。事業の推進にあたりこれらの事に配慮して設計等事業執行する。	
事業実施上における制約や財源確保等	都市計画道路3.2.6号線の用地として、こもれびホール来客用駐車場の一部が予定されており、14台分の駐車スペースを失う。敷地内整備に伴う建築確認申請時に、一団地認定の条件として敷地内緑化が必要とされる。ソーラーシステム設置等の地球温暖化対策と一体的な事業を行い、国庫補助金の対象となるよう申請する。	
代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特になし

事業コード 2-1-3	事務事業名 保谷庁舎・敷地整備事業	所管部課 総務部 管財課
----------------	----------------------	-----------------

施策コード 協2-3	施策名 健全な自治体経営の推進	施策目標 コスト意識・マネジメント意識をもった行政運営を行うとともに、市民との連携による運営及び市民に便利でわかりやすいサービスの提供をめざします。
---------------	--------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク		一次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	2			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【二次評価】

検証項目		ランク		二次評価	検証項目、評価の判断理由 事業化する上での課題等
A	事業の優先度(緊急性)	3		検証項目の見方 A: 事業実施の意義を検証する項目 B: 事業の内容・実施方法を検証する項目 C: 市民ニーズの反映度を検証する項目	<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止
	事業の必要性	3			
	事業主体の妥当性	3			
B	直接のサービスの相手方	3			
	事業内容等の適切さ	2			
	受益者負担の適切さ	3			
C	市民ニーズの把握	2			

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業化する上での課題等
<input checked="" type="checkbox"/> 事業化 <input type="checkbox"/> 実施を延期 <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 計画を中止	現行の市庁舎を有効活用して市民サービスの向上を図る観点からは、本事業を実施すべきと考える。実施にあたっては、環境への配慮や特定財源の活用、整備事業の対象のひとつである駐車場の適正利用の仕組みづくりについても検討されたい。